



新浦安フォーラム敷地内医療機関
ひまわりクリニック
山田 智子 院長

「調子はいかがですか？」

住み慣れた地域で自分らしく。

Ageing in Place

vol.6

徒歩0分の ホームドクター

「こんにちは。居室に入って目を合わせると、患者さまの表情がほころびます。『暖かくなりましたね。調子はいかがですか？』話しかけながら、血圧や体温を測り、いつもと違う様子はないか、病状に変化がないかなどを診ていきます。」

舞浜倶楽部新浦安フォーラムの一角に、ひまわりクリニックを開院したのは、2014年の初夏。以来「徒歩0分のホームドクター」として、ご入居者から新浦安フォーラムという「家」で安心して暮らせるように、在宅医療を支えています。

人に寄り添う医療を目指して

開院から間もなく5年、地域医療に取り組み、午前は外来、午後は往診の日々を送っています。

訪問診療医として寄り添っている患者さまは、舞浜倶楽部新浦安フォーラム・富士見サンヴァーロのご入居者を含め300名以上となりました。そもそも、「病気を診る

のではなく、人を診たい」と訪問診療のクリニックを開院しました。

人を診るためには、患者さまそれぞれの生活背景や生活質、人生観・価値観などを理解することが大切です。診察時は、体調の変化や病気について話すだけでなく、世間話や心配事、時には思い出話を聞くことも。また、ご家族の悩みにもできる限り耳を傾けるようにしています。

私たちが目指す「人に寄り添う医療」は、こうしたコミュニケーションと信頼関係を基礎に成り立つと思っています。

家族・医療・看護・介護の連携

新浦安フォーラムの敷地内に、クリニックを開いたのは、舞浜倶楽部の代表

取締役であるタスタフ社長が、徹底した個別ケアなど人を中央に据えたケアを実践していることに共感したためです。

同じように、療養生活を支援する私たちが柔軟であれば、一人ひとりに合わせたかたちで医療を提供していくことは、決して不可能ではありません。

できるかぎりご本人が望むかたちで、「その方らしい」日々を送れるよう、ご家族をはじめ、看護師、ケアマネジャー、薬剤師、介護士などと連携をとりながら、今後も在宅医療に取り組んでまいります。

医療法人社団 舞浜会 ひまわりクリニック

新浦安フォーラムの敷地内に、クリニックを開いたのは、舞浜倶楽部の代表
WEBサイト
<https://himawari-cl.net>



介護付有料老人ホーム 舞浜倶楽部
新浦安フォーラム

◆お問い合わせ・ご入居相談
047-304-2400
浦安市高洲1-2-1
<https://www.maihamaclub.co.jp>

